

【平泉商工会】経営発達支援事業 評価シート

<<評価基準>> A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	28年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること（指針③）	①観光客数による調査分析	四半期	四半期	事業委託により実施	A
	②小規模企業景気動向調査の実施	毎月	毎月	全国連調査に毎月回答	A
	③岩手経済研究機関誌による情報収集	毎月	毎月	毎月実施	A
	④商工会報による情報提供	四半期	無	会員専用会報の発行実績無し	D
	⑤ホームページ等による情報発信	四半期	不定期	調査結果を公開	B
2. 経営状況の分析に関すること（指針①）	①巡回件数（年）	800	600	計画的な実施が出来なかった	B
	②ネットde記帳利用事業者数	50	42	新規1 廃止2	B
	③経営状況の分析事業所数	30	42	ネットde記帳のデータ活用	A
3. 事業計画策定支援に関すること（指針②）	①経営計画作成セミナー参加者数	20	21	2/1SNSを活用した販路開拓による経営計画作成セミナー	A
	②補助金等申請支援数	20	30	持続化補助金26、もの補助1、希望ファンド3	A
	③マル経融資件数	10	11	経営指導員1人5件以上の目標	A
	④経営発達支援融資件数	1	0	案件無し	D
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること（指針②）	①経営革新計画認定者数	3	0	計画書作成まで2社あったが申請までに至らず	C
	②創業者数	2	2	29年3月にさらに1店創業予定	A
	③各種制度認定後のフォローアップ支援数	36	200	各種補助金採択後の支援延べ回数	A
5. 需要動向調査に関すること（指針③）	①観光客による需要動向調査	四半期	四半期	事業委託により実施	A
	②岩手経済研究機関誌による業種別需要動向情報収集	四半期	四半期	毎月実施	A
	③金融公庫メルマガによる需要動向情報収集	毎月	毎月	毎月実施	A
6. 新たな需要に寄与する事業に関すること（指針④）	①平泉ブランド認証商品数	75	62	登録商品の見直しにより商品数減	B
	②ネット通販取引件数	70	27	前年度までの送料無料サービスを無くしたため取引数減	C
	③ニッポン全国物産展出展者数	2	2	11月 池袋にて開催	A
	④ITスキルアップ講習会開催	1	0	実施無し	D
	⑤マスコミへのプレスリリース	四半期	9	事業の都度実施し結果は県連へ報告	A

II 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	28年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 平泉ブランド認証商品による小規模事業者支援	①平泉ブランド認証商品数	75	62	補助事業を活用し商品カタログ刷新	B
	②ネット通販取引件数	70	27	取引件数の減少	C
2. 中心市街地賑わい創出による小規模事業者支援	①町なか商店街活性化委員会の開催回数	4	4	委員会の開催	A
	②賑わい創出イベントの回数	1	1	中尊寺通りホコ天まつりの開催	A
	③のれん看板の設置店数	20	23	Facebookを活用し店舗をPR	A

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	28年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	①経営改善貸付連絡会議参加	2	2	会議2回に出席	A
	②中小基盤整備機構の活用	1	0	実績無し	D
	③地域内金融機関との情報交換会	2	0	不定期に情報交換あり	B
	④町行政との情報交換会	1	1	町担当課とは綿密な連携ができています	A
2. 経営指導員の資質向上等にかんすること	①研修会参加による資質向上	8	14	県連主催研修13回、機構主催1回	A
	②OJTによる取組	随時	随時	通常業務の中で実施	A
	③職員全員による支援ノウハウの共有	12	12	毎月1回職員会議を開催	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①評価委員会の設置による事業の評価検証	1	1	29/2/17委員会開催	A
	②職員会議による進捗状況の確認と検証	12	12	毎月1回職員会議を開催	A